

## グリーンマーケット

ゲーム作家：Markus Nikisch

人数：2～4人 対象年齢：3才～ プレイ時間：約10分

簡単なメモリーゲームです。

### セット内容

マーケットスタンド・1セット／エンドウ豆・5ヶ／イチゴ・3ヶ／たまご・3ヶ／じゃがいも・2ヶ／パプリカ・2ヶ／にんじん・1本／コイン・40枚／お買い物カード・16枚／サイコロ・1ヶ

### 保護者の方へ

グリーンマーケットをお買い上げいただき有難うございます。このゲームを通して、お子様の遊び・ゲームについての視野が広がることでしょう。まずは、商品の内容物について、お子様にゆっくり説明してあげてください。どれが、お買い物できるもの、どれが、果物？どれがお野菜？といった具合に、一つ一つ教えてあげましょう。ゲームの中で、子どもたち同士で買ったり、売ったりとお買い物遊びをしてもらうために必要な知識です。

このゲームは楽しい部分ばかりではありません。専門知識・会話・理解力・情報処理など社会生活で必要となることの、練習となる部分を含んでいます。ですので、遊ぶ際は保護者の方も一緒に遊んでください。そして、さまざまなシチュエーションを説明してあげてください。

それでは、ゲームをお楽しみください。

Markus Nikisch (マルクス ニキッシュ)

### ゲームの流れ

時計回りの順番に遊びます。まずは、サイコロを振りましょう。どんな目が出ましたか？

#### ★ ●の色マークがでたら。

対応した色の食材の一つ選びます。選んだ食材を探しているお客さんのカードを裏返しましょう。

買い物リストに食材はありましたか？

● リストにあった。 → すごい！立派な店員さんですね！

ご褒美にカードを一枚もらえます。

● リストになかった。 → 残念。ほかの客さんの欲しい食材だったかな…

カードを伏せ、もとの場所に返し、使った食材も元の場所に返して、次の人と交代します。

#### ★ サイコロの目でジョーカー（人のシルエット）がでたら？

ラッキー！好きな食材が選べます。選んだ食材を探しているお客さんの前に置きましょう。続いてカードを裏返して、リストにあればご褒美にカードをもらえます。

#### ★ サイコロの目で買い物リストが出たら？

好きなお買いものカードを一枚だけこっそり見ることができます。続けて、サイコロをもう一度振ることができます。

### ※ 注意

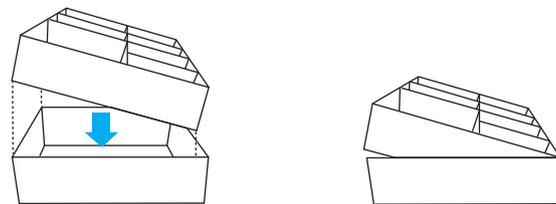
カードをもらった人は、その都度、次のお買い物カードを一度表に向けて、みんなで覚えなおしましょう。

### ゲームのアイデア

今日はマーケット市の日！君たちの屋台にも、たくさんの新鮮なお野菜が並んでいます。人々でごった返した市場では、君たちの屋台にも買い物リストを持ったお客さんが並んでいます。一人目のお客さんを接客している途中でも、次のお客さんが買い物リストを渡してきます。だから、君たちはしっかりリストを覚えておかなければなりません。このゲームでは、リストをしっかり覚えて、正しく商品を渡せた人が、ご褒美にカードをもらえます。記憶力を生かして、町一番の八百屋さんになろう！

### ゲームの準備

マーケットスタンドを図のように組み立ててください。果物に対応した絵のマスを置いてください。コインはバリエーションルールでのみ使用します。カードはそれぞれの買い物客に分けて、スタンドの前に並べます。それぞれのカードの山の一番上のカードを表に向けます。この時に、4人の買い物リストを全て覚えましょう！しっかり、覚えたらカードを再び裏返してから、ゲームスタートです。



### ゲームの終わり方

お客さん達がいなくなるまで、ゲームを続け、終了したら獲得したカードの枚数を比べます。一番たくさんカードを集めた人の勝ち！

### 上級者向けのバリエーションルール

ゲームに慣れてきたら、コインを利用した上級者ルールで遊べます。

通常ルールに下記のルールを加えましょう。

● コインをマーケットの紙幣の描かれたマスに入れます。

● 正しくお買いものが出来た人は、ご褒美にカードとカードに描かれた枚数のコインをもらえます。

● お客さんの誰かひとりがなくなった時点でゲーム終了です。(同じ色のカードが4枚なくなった時です。)それぞれ獲得したコインを1列に並べ、数を比べてみましょう。より多くのコインを獲得した人の勝ちとなります。